

行政経営改革プラン2025実績報告書（令和5年度分）

1 行政経営改革プラン2025の実績報告について

本市では、総合計画で定められたまちの未来像である「光・緑・人 輝くとよかわ」を実現するため、行政経営改革を行っています。

また、行政経営改革を着実に実施するための計画として、「行政経営改革プラン2025」を策定しました。

行政経営改革プラン2025は、令和3年度から令和7年度までの計画とし、具体的取組は、向こう3年間の計画を毎年ローリングにより策定します。

今回は、計画期間の3年目にあたる令和5年度の実績について報告します。なお、各取組みの詳細は、「具体的取組評価結果」に記載しています。



2 進捗度

行政経営改革プラン2025に掲載されている32件全ての取組みについて、「改革工程どおり」推移しております。

3 目標指標評価

目標指標評価で目標値を上回る取組み（◎評価）と下回る取組み（△評価）を抜粋しました。

評 価	取組件数
◎：目標値を上回る	15
○：目標値を概ね達成した	10
△：目標値を下回る	4
—：該当なし	3
計	32

目標指標評価
目標値を上回る取組み
件名/目標値/実績値
◎町内会加入の促進(P.4)/54,135→54,635【世帯】
◎ボランティア・NPO等の人材育成(P.8)/250→311【人】
◎とよかわ環境パートナーシッププロジェクト(P.20)/8→10【団体】
◎企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.22)/30→38【講座】
◎スポーツイベント開催支援(P.24)/4,300→4,441【人】
◎AI等情報技術利用による業務効率化の推進(P.26)/85→91【件】
◎行政手続のオンライン化の推進(P.28)/350→415【件】
◎リモート接続環境整備(P.30)/1,800→1,961【回】
◎多様な広報媒体を活用した市政情報の発信(P.32)/54→56.5【％】
◎シティセールスの推進(P.34)/3,633,000→3,743,217【件】
◎広報に関する職員の意識改革の実施(P.36)/90以上 →95.4【％】
◎市債残高の削減(P.46)/1.0→△0.9【％】
◎施設の見直し及び処分(P.50)/493,000→491,452【㎡】
◎公共施設適正配置計画におけるリーディング事業の推進(P.52)/本庁舎等整備事業において財政負担軽減に資するオフィス環境調査を実施
◎内部統制研修等の実施(P.80)/97.5→100【％】

目標値を下回る取組み
件名/目標値/実績値
△財務事務に係るリスク管理の推進(P.78)/0→28【件】
△障害者活躍推進計画に係る取組みの推進(P.84)/2.9→2.44【％】
△男性職員の育児休業取得率の上昇(P.86)（育児参加休暇等）/80→69.6【％】
△時間外勤務時間数の縮減(P.88)/5→▲0.03【％】

4 総合評価

総合評価でA評価の取組みとC評価の取組みを抜粋しました。

評価	取組件数
A	15
B	14
C	3
計	32

総合評価
A評価の取組み
○町内会加入の促進(P.4) 理由：工程どおりに事業を進め、実績値も目標値を上回ることができたため。
○ボランティア・NPO等の人材育成(P.8) 理由：工程どおりに事業を進め、実績値も目標値を上回ることができたため。
○地方創生に関する包括連携協定(P.12) 理由：包括連携協定締結団体数の目標値を達成し、多くの連携事業を実施できたため。
○とよかわ環境パートナーシッププロジェクト(P.20) 理由：目標値を上回る事業所を登録することができ、各種協働事業を展開することができたため。
○企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.22) 理由：新たな分野への連携協議等を行うことができ、目標値を大幅に上回る実績となったため。
○スポーツイベント開催支援(P.24) 理由：参加者数が目標値を上回ることができ、YouTubeでコース動画を配信するなどしたため。
○AI等情報技術利用による業務効率化の推進(P.26) 理由：活用事例の紹介やRPAを学べる機会を提供したことで、各課の利用件数が増加したため。
○行政手続のオンライン化の推進(P.28) 理由：目標値を大幅に上回り、市民の利便性向上を図ることができたため。
○リモート接続環境整備(P.30) 理由：各種会議等のリモートに対応するため職員が主催・参加する環境整備を継続することができたため。

○多様な広報媒体を活用した市政情報の発信(P.32) 理由：広報「とよかわ」をはじめ民間企業のデジタルサイネージ等による市政情報の発信、周知を行うことができたため。
○シティセールスの推進(P.34) 理由：市制施行80周年記念事業等の告知を実施することで、目標値を上回るアクセス件数があったため。
○広報に関する職員の意識改革の実施(P.36) 理由：事後アンケートで肯定的な評価が95.4％であり、引き続き高水準を維持できたため。
○市債残高の削減(P.46) 理由：他の財源を有効活用し、市債借入額を元金償還額以内とすることで、市債残高を削減できたため。
○施設の見直し及び処分(P.50) 理由：目標値以上の縮減を達成できたため。
○公共施設適正配置計画におけるリーディング事業の推進(P.52) 理由：本庁舎等整備事業において財政負担の軽減に資するオフィス環境調査を実施したため。

C評価の取組み
●財務事務に係るリスク管理の推進(P.78) 理由：リスクの発現に対し再発防止に向けた協議やリスク管理シートの修正などを行ったが、目標値を下回ったため。
●障害者活躍推進計画に係る取組みの推進(P.84) 理由：法定雇用率を達成することはできなかったが、障害者活躍推進計画に定めた目標値には達しなかったため。
●時間外勤務時間数の縮減(P.88) 理由：前年度と比べて1人当たりの平均時間外勤務時間数は、横ばいで目標値を大きく下回ったため。

5 次年度以降の取組みについて

計画期間の3年目にあたる令和5年度については、32件の取組みのうち29件の取組みでB評価以上となり、目的達成に向けて順調に進んでいると言えます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、事業が活性化したことで、前年度よりA評価の取組みが4件増加しました。しかし、評価を下げている取組みもあるため、さらなる事業の工夫や見直しが必要となっています。計画期間の最終年である令和7年度に、各取組みが目的達成できるよう、計画的に努めていきます。